

令和 2 年度 第 4 回 部門長会議(web) 議事録

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

日時 令和 3 年 3 月 5 日 (金) 20 : 00 ~ 21 : 00

場所 各部門長 web 環境下

参加者 渡邊・今吉・林晃司・森本・林裕介・石田真理子・石田秀和・桂川・後藤
大鹿・近藤・棚橋・関

記録 関敏秀

議題 1) 令和 2 年度 新人サポート研修会 報告

- ・今年度の新人サポート研修会は、WEB 研修会として、12 月 21 日から 1 月 24 日までの視聴期間で、14 名が参加。
- ・研修会のレポート提出に関して、レポートがエクセル以外の PDF や、手書き用紙の郵送など、統一がなされていなかった。今後、提出ファイルの指示（エクセルのままメール）を明確にする必要がある。
- ・次年度開催について、場所など開催施設や時期は未定。開催形式は今年度と同様に音声入り PPT で検討を行う。

議題 2) 岐阜県臨床検査技師会誌 進捗状況 報告

- ・今年度の投稿は 2 編、朝日大学病院 棚橋富士和先生「フルオロキノロン耐性 *Escherichia coli* におけるキノロン系薬剤使用量と耐性菌分離率との統計学的検討」、岐阜県総合医療センター 大澤稜先生「3 菌種の NDM 型メタロ β -ラクタマーゼ産生菌を胆汁から同時検出した 1 症例」。3 月定期便にて発送予定。
- ・会誌の製本について、各専門学会において、電子版の論文も多いかと思われる。本会誌においても、製本代に約 20 万円~30 万円を必要としているので、経費削減に向けて、会員各 1 冊の配付を各施設規定数の配付に切り替え、岐臨技 HP 上での閲覧にするのはどうか？
- ・一人 1 冊の配布は必要ないのでは？ 学術部としては各施設への規定数配布と WEB 掲載でいきたい。

議題 3) 各部門からの次年度活動報告 4) 定時総会について

※別紙参照

- ・臨床一般 林：次年度の研修会計画について、以下に修正。

Ⅲ. 臨床一般部門

一般検査 研究班研修会

研修会名	月 日	時 間	場 所	
第 1 回研修会	6 月	13 時～15 時 30 分	Web 開催	尿検査について
第 2 回研修会	9 月	10 時～16 時もしくは 13 時～16 時	通常研修会もしくは Web 開催	体腔液検査について
第 3 回研修会	2 月	13 時～16 時	Web 開催	精度管理報告と寄生虫検査について(仮)
第 4 回研修会				
合 計				

・ 今後は、ハイブリットや現地開催もやれるようになるのでは。日臨技も三密を回避してやってほしいとのこと。予算も現地開催するのであれば費用がかかるので、その旨、技師会へ要請済。

議題 5) 理事会報告 6) その他

・ 今の岐臨技の ZOOM 契約は上限が 100 人であるため、参加人数が 300～500 人クラスの研修会があると現状の ZOOM 契約では困難。

・ 日臨技の支部研修会に使用する場合は複数回 ZOOM 使うわけではないので、勿体なのでは？ 中部圏支部連絡協議会の報告はもらっていない（開催されたかも不明）。

・ 2020 年 12 月の理事会で議案を出しているが、大型契約をどうするかは連絡は未定。

・ 4 月の病理研修会は定員の 80 名すでに満員。100 人はこえる。参加希望者もある。300 人制限の契約にしても月額数百円のアップなので検討してみてもいいのでは？ もしダメなら、YouTube などのオンデマンドも活用する用意がある。（大鹿）

⇒ 日臨技のオンデマンドも使えれば使いたい。会長に打診したが返信はまだなし。3 月 6 日に会議があるので、会長に確認予定。（渡邊）

・ 中部圏支部学会があるのでやはり ZOOM 300 人契約にして欲しい。（桂川）

⇒ 他の県も現状では研修会開催方法について意見は無い。経費削減もあるので、理事会の方は無料のシステムがあれば利用したいとのこと。今後のこともあるので、ZOOM 契約は 300 人にしていきたい。日臨技助成金を活用していきたい。（渡邊）

・ 中部支部については、費用はかかるがコングレに依頼するのもありでは？ それと、ZOOM で 300 人規模の研修会は、参加確認が大変ではないか？（今吉）

⇒ 300 人規模の研修会開催実績あったが、1 人では参加確認困難。（渡邊）

・ オンデマンド配信にする場合、録音 PPT を嫌がる先生もいる。できればリアルタイム配信でいきたい。（大鹿）

⇒ 生配信はその場で終わるが、オンデマンドは著作権問題もある。（渡邊）

・ 日臨技オンデマンドの参加登録は、JAMT を使うので参加確認は容易。ただ、現状のオンデマンドシステムは、1 つ一つのセクションを視聴し、その都度、感想を入力

する形式で、研修会には不向き。質問もリアルタイムに近い感じで、学会のような運用はできないか。可能であれば、学会の方式を研修会にも使えるようなシステムを構築してほしい。(今吉)

⇒他県からも意見はあるはず。会長を通して日臨技に聞いていきたい。セキュリティや著作権に関する部分も日臨技がうまくやってくれると良い。アンケートや感想問題もクリアできるとよい。(渡邊)

・Zoom ビデオウェビナーとは？(今吉)

⇒人数制限はあるが、外部の音は入らない。アンケートや所属などの入力も必要。オンデマンドが手っ取り早いけどメリットデメリットあるので、会長に意見を求めたい。(渡邊)

⇒外部の音が入らないのであれば、ウェビナーの方がいい。このまま ZOOM を利用していくのか？(石田)

⇒少人数会議は ZOOM が良い。ZOOM の契約更新時期もあるので確認はする予定。(渡邊)

・エクセルで参加者の感想や意見を求めているが、参加者からの返信ファイルの形式が、バラバラ(エクセルや PDF、写真)で対応に苦慮した。Googleform の活用はどうか？技師会でアカウントを用意してはどうか？スプレッドシートで出力されるので集計も楽になる。学術部でアカウントを持てれば研修会問題点も学術部で共有しやすい。(今吉)

・遺伝子後藤先生よりご挨拶。今年度で交代。あと1年でご勇退となる。

・次回の開催予定は、7月頃。5月末から6月初めにメール連絡。

以上

署名人 _____ 渡邊 宜典  印

署名人 _____ 関 敏秀  印

署名人 _____ 棚橋 正智  印